



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
5/12 (月)	+ 1,200	▲ 6,600	▲ 5,400	国庫短期証券発行償還 (3M・6M)	国債補完供給 + 4,000 被災地金融機関支援 ▲ 200 CP等買入 ▲ 100		日：国際収支 (3月) ：貿易収支 (3月)
5/13 (火)	+ 2,000	▲ 3,000	▲ 1,000				日：日銀金融政策決定会合における主な意見 (4月30日・5月1日分) 米：CPI (4月)
5/14 (水)	+ 1,000	▲ 9,000	▲ 8,000	源泉税繰上げ 国債発行 (30年)	共通担保 ▲ 8,000		日：国内企業物価指数 (4月)
5/15 (木)	トン	▲ 6,000	▲ 6,000	国債発行償還 (個人)			米：パウエルFRB議長、会議冒頭のあいさつ ：新規失業保険申請件数 (5月10日終了週) 欧：ユーロ圏GDP (1Q)
5/16 (金)	+ 2,000	▲ 22,000	▲ 20,000	国債発行 (5年)			日：日銀の中村審議委員、西日本政経懇話会で講演 ：GDP (1～3月期速報) ：鉱工業生産 (3月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比8,300億円増加の537兆9,500億円から始まった。その後、国債発行等の要因により減少し、9日は534兆1,900億円 (速報) で越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初、0.477%から始まり、その後も横ばい圏で推移した。

ターム物は1W～3W物0.478%～0.620%のレンジ、1M～3M物0.540%～0.700%のレンジで出合が見られた。

来週の予定は、国内では、13日に日銀金融政策決定会合における主な意見 (4月30日・5月1日分) の公表、16日には日銀の中村審議委員の西日本政経懇話会の講演などがあり、海外では13日米CPI (4月)、15日に新規失業保険申請件数 (5月10日終了週) の公表などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	0.450 ～ 0.478
1M	0.53 ～ 0.70
2M	0.55 ～ 0.75
3M	0.58 ～ 0.75
6M	0.65 ～ 0.80

<レポ>

足許GC取引は輪番オペのあった7日と翌8日は+0.48%近辺で出合い。短国の発行が重なる9日は終日+0.49%近辺で取引された。

SC取引は2年460～468回債、5年155～177回債、10年355～370回債、20年110～130回債などに引合いが見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	0.40%台
CP 3M	0.55 ～ 0.65

<CP>

今週の入札発行総額は約3,200億円で、週間償還額の5,200億円を下回った。発行残高は先週末時点の23兆5,674億円から、5月8日時点で23兆3,606億円に減少した。

発行市場は、大型連休明けで営業日数が少なく、発行案件の少ない落ち着いたマーケットであった。入札案件の発行レートは、先週に引き続き、a-1格相当の1か月物では、0.50%台前半から0.50%台半ばでの出合い、3か月物では0.50%台後半から0.60%台半ばとなった。

来週の償還額は、1兆2,000億円となっている。発行市場は、償還と同程度の発行が見込まれる。1か月物に関しては0.50%台前半から0.50%台半ばでの出合い、3か月物に関しては0.50%台後半から0.60%台半ばと、横ばい圏での出合いを予想する。

<TDB>

8日の6M (1304回債) の入札は、最高落札利回り0.4462% (前回債0.4237%)、平均落札利回り0.4381% (前回債0.4137%) となった。

9日の3M (1305回債) の入札は、最高落札利回り0.4090% (前回債0.4249%)、平均落札利回り0.3979% (前回債0.4051%) となった。

来週の入札は16日に3Mが予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。